

Title	デジタル化に向けての企業活動に関するアンケート調査
Author(s)	小沼, 良直; 高梨, 千賀子; 安本, 雅典; 手嶋, 達也; 水上, 潔; 中島, 一雄; 大塚, 和久
Citation	年次学術大会講演要旨集, 39: 527-530
Issue Date	2024-10-26
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/19645
Rights	本著作物は研究・イノベーション学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Research Policy and Innovation Management.
Description	一般講演要旨

1 G 2 1

デジタル化に向けての企業活動に関するアンケート調査

○小沼良直（未来工研），高梨千賀子（東洋大），安本雅典（横国大），手嶋達也（日立製作所），水上潔，中島一雄，大塚和久（ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会）

1. 調査の目的

本調査は、RRI（ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会）と本学会の連携による共同研究の一環として行ったもので、日本はデジタル化で後れを取っているとされている中で、具体的にどこに問題・課題があるのかを検討を行う上での基礎情報を収集する目的で、デジタル化に向けての企業活動に関するアンケート調査を実施した。

なお、調査対象は RRI の会員企業に対して行った。

2. 調査対象及び調査内容

2.1. 調査対象および調査実施期間

アンケート調査対象および調査実施期間は以下のとおり。

調査対象	発送： RRI 会員企業 244 社 回答： 60 社（回収率 24.6%）
調査実施期間	2024 年 3 月 12 日～6 月 28 日

2.2. 主な調査内容

主な調査内容は以下のとおり。

区分	調査項目
ICT 関係の人材	<ul style="list-style-type: none">ICT 関係人材の確保の状況（十分か不十分か）ICT 関係人材の育成の状況（十分か不十分か）ICT 関係人材の育成における問題・課題学校教育やインターンシップへの協力
ICT 投資	<ul style="list-style-type: none">ICT 関係投資（AI、ソフト、ハード）の今後の見通しICT 関係の研究開発投資（AI、ソフト、ハード）の今後の見通しICT 関係投資における問題・課題ICT 関係の研究開発における問題・課題
ICT に関するビジョン・戦略	<ul style="list-style-type: none">ICT に関するビジョン・戦略の構築状況ICT に関するビジョン・戦略策定における問題・課題
ICT や DX 関係のイノベーションを創出するための企業風土や意識	<ul style="list-style-type: none">ICT や DX 関係のイノベーション創出へ向けての取組状況アイデア出しの容易性アイデアの活用や実現に向けての問題・課題出されたアイデアが活かされない理由ICT や DX 関係のイノベーションを創出する上での問題・課題
外部連携	<ul style="list-style-type: none">ICT や DX に特化したイノベーションを創出するための外部連携の状況企業間連携によるデータ・プラットフォームの活用状況データ・プラットフォーム活用の今後の見通しデータ・プラットフォームの活用における阻害要因
ICT や DX に取り組む意識・姿勢	<ul style="list-style-type: none">ICT や DX への意識の高さ（従業員、管理職、経営層）日頃の業務の中で社員が ICT や DX へ触れ合う機会<ul style="list-style-type: none">社内外で議論する機会が多さ社内外で学ぶ機会が多さ社員が ICT や DX に関して議論する機会や学ぶ機会の推進状況<ul style="list-style-type: none">社内外で議論する機会を推進の積極性社内外で学ぶ機会を推進の積極性

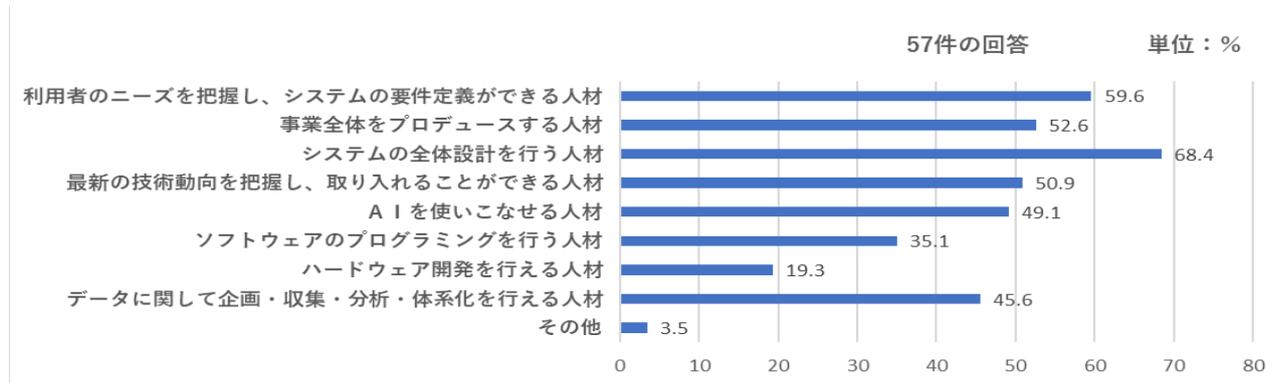
3. アンケート調査結果の例

アンケート調査結果のうち、主要なものを以下に示す。

3.1. ICT 関係の人材

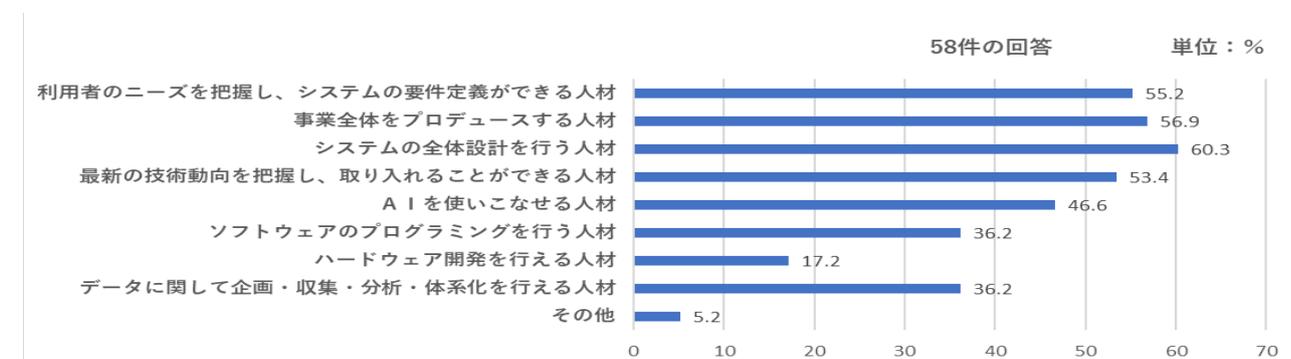
1) 人材確保の状況

質問：ICT 関係の人材のうち、どのような人材が不足していますか？（複数選択可）



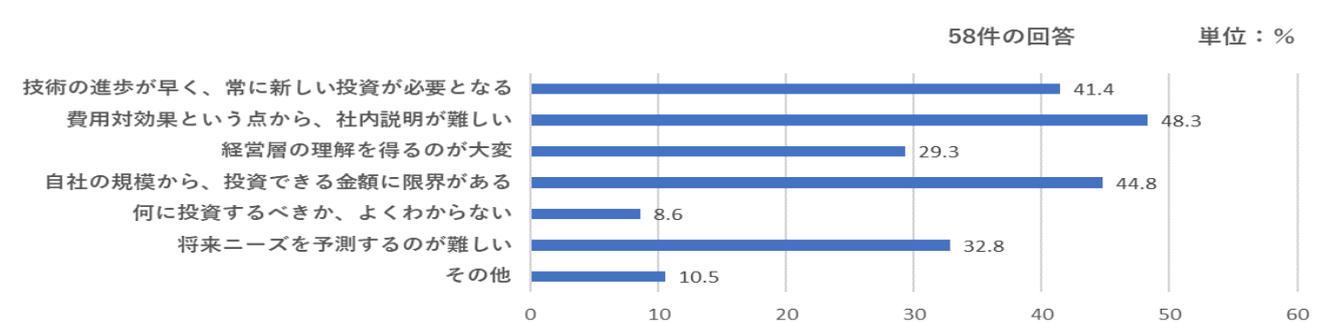
2) 人材育成の状況

質問：ICT 関係の人材のうち、どのような人材に対する育成が不足していますか？（複数選択可）

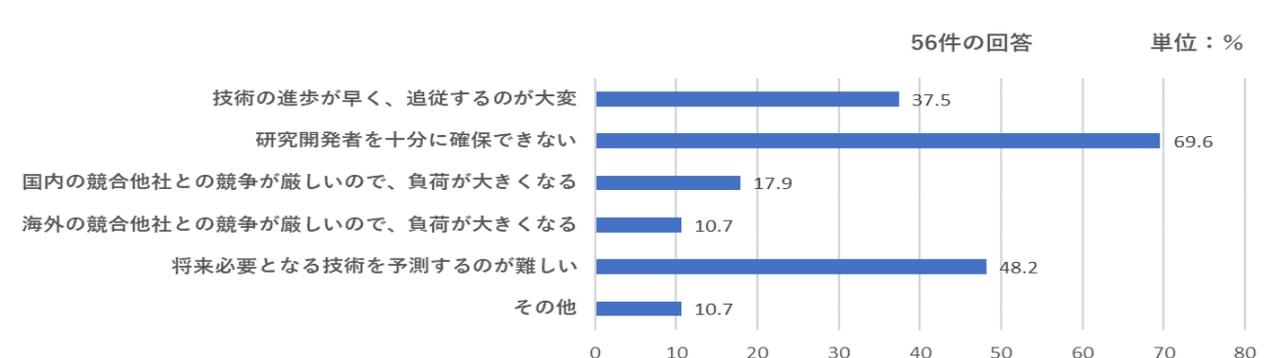


3.2. ICT 投資

質問：ICT 投資全般における問題・課題は何でしょうか？（複数選択可）



質問：研究開発における問題・課題は何でしょうか？（複数選択可）



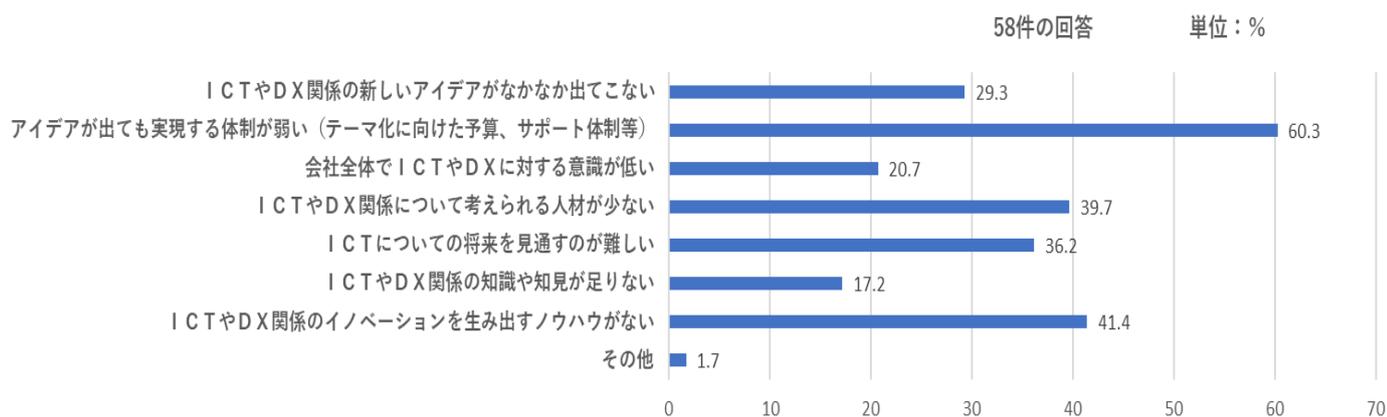
3.3. ICTに関するビジョン・戦略

質問：ICTを戦略的に展開していくことを明記したビジョン・戦略を策定していますか？

	策定している	策定していない	回答数
短期のビジョン・戦略 (1～3年先)	53.4%	46.6%	58
中期のビジョン・戦略 (4～9年先)	53.3%	46.7%	60
長期のビジョン・戦略 (10年先以上)	35.6%	64.4%	59

3.4. ICTやDX関係のイノベーションを創出するための企業風土や意識

質問：ICTやDX関係のイノベーションを創出する上での問題・課題をお答え下さい。(複数選択可)



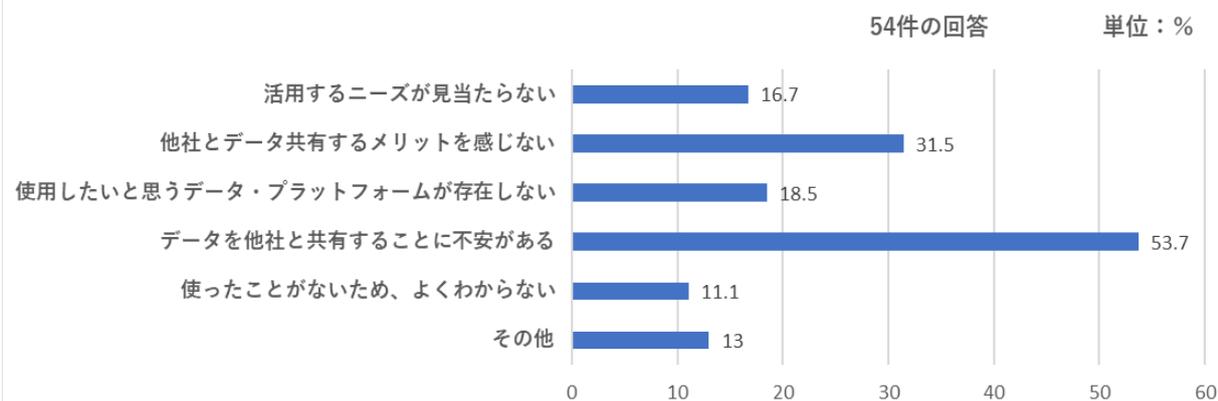
3.5. 外部連携

質問：ICTやDXに特化したイノベーションを創出するための外部連携を行っていますか？

	頻繁に実施している	たまに実施している	ほとんど実施していない	回答数
メーカー/ユーザー企業との連携	32.2%	37.3%	30.5%	59
同業他社との水平連携	5.1%	30.5%	64.4%	59
系列企業間の垂直連携	24.1%	39.7%	36.2%	58
大学等、公的研究機関との連携	22.0%	54.2%	23.7%	59
アイデア出しに向けた有識者等との議論	8.5%	55.9%	35.6%	59
オープンな場での共創活動の参加	11.9%	49.2%	39.0%	59

質問：データ・プラットフォームの活用における阻害要因は何ですか？(複数選択可)

*データ・プラットフォーム：組織が持つ膨大なデータを適切に蓄積・加工・分析できるようにする、データ活用の基盤を指します。本調査では、自社単独ではなく、様々な企業間でデータを共有しているものを対象とします。



3.6. ICT や DX に取り組む意識・姿勢

質問：日頃の業務の中で、社員の方々が ICT や DX へ触れ合う機会について、該当するものを選択してください。

	多い	どちらかといえば多い	どちらかといえば少ない	少ない	回答数
ICTやDXについて社内で議論する機会	16.7%	31.7%	38.3%	13.3%	60
ICTやDXについて社外の人と議論する機会	10.0%	26.7%	41.7%	21.7%	60
ICTやDXについて社内で学ぶ機会	11.7%	26.7%	43.3%	18.3%	60
ICTやDXについて社外で学ぶ機会	6.7%	28.3%	45.0%	20.0%	60

質問：社員の方々が ICT や DX に関して議論する機会や学ぶ機会を、会社側は積極的に推進していますか？該当するものを選択してください。

	積極的に推進	どちらかといえば積極的	どちらかといえば消極的	消極的	回答数
ICTやDXについて社内で議論する機会	11.9%	44.1%	32.2%	11.9%	59
ICTやDXについて社外の人と議論する機会	7.0%	35.1%	45.6%	12.3%	57
ICTやDXについて社内で学ぶ機会	13.6%	33.9%	40.7%	11.9%	59
ICTやDXについて社外で学ぶ機会	8.6%	36.2%	44.8%	10.3%	58

4. アンケート調査結果のまとめ

アンケート調査結果を以下の様に整理した。

区分	調査結果（主なもの）
ICT 関係の人材	<ul style="list-style-type: none"> ICT 関係人材には全体的に不足感が表れている。 ICT 関係人材の育成に関しても、同様に不足感が表れている。 ICT 関係人材の育成における問題・課題としては、「人材育成体系の整備」や「教える人材の確保」、「技術の進歩の早さ」を挙げた企業が多い。
ICT 投資	<ul style="list-style-type: none"> AI やソフト関係の投資は増やす傾向が強いが、ハード関係は現状維持が多い。研究開発投資も同様の傾向である。 ICT 関係投資における問題・課題としては、「社内説明」、「予算の限界」、「技術の進歩の早さ」を挙げた企業が多い。 ICT 関係の研究開発における問題・課題としては、「研究開発者の確保」、「将来技術の予測の難しさ」を挙げた企業が多い。
ICT に関するビジョン・戦略	<ul style="list-style-type: none"> ICT に関するビジョン・戦略の構築状況については、短期（1～3年先）・中期（4～9年先）まで策定している企業が半数強だが、長期（10年先以上）になると1/3くらいの企業しか策定していない。 ICT に関するビジョン・戦略策定における問題・課題としては、「将来ニーズ予測の困難さ」を挙げた企業が多い。
ICT や DX 関係のイノベーションを創出するための企業風土や意識	<ul style="list-style-type: none"> アイデア出しも容易ではないが、出されたアイデアが活かされている割合も低い。 出されたアイデアが活かされない理由としては、「人員補強」や「実行するための組織作り」の不十分さなどの体制面を挙げた企業が多い。
外部連携	<ul style="list-style-type: none"> ICT や DX に特化したイノベーションを創出するための外部連携の状況については、「同業他社との水平連携」、「アイデア出しに向けた有識者等との議論」、「オープンな場での共創活動」の割合がまだまだ低い。 他社と共同利用するデータ・プラットフォームの活用割合は高くない。
ICT や DX に取り組む意識・姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ICT や DX への意識の高さとしては、経営層＞（管理職≒従業員）となっている。 日頃の業務の中で社員が ICT や DX へ触れ合う機会については、社内で議論する機会を「多い」または「どちらかといえば多い」と回答した割合は約半分。 しかしながら、社外の人との議論や学ぶ機会については、「少ない」または「どちらかといえば少ない」と回答した割合が高くなる。 会社側の推進姿勢についても似たような傾向があるが、姿勢を評価する割合は若干高くなっている。